



2015~2016 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人



RI 会長テーマ

会 長 松岡 克之
副会長 水野 賢一
幹 事 新沼 敏宏

会長テーマ
誇りをもって 行動を

．．． ガバナー公式訪問 ．．．

9月第2週例会 2015年9月10日(木)

ソング : 君が代・奉仕の理想

お客様紹介 : 第2520地区ガバナー 菅原裕典様 第三分区ガバナー補佐 千田勝治様
// 代表幹事 鎌田善幸様

★会長の時間 松岡克之会長



今日は国際ロータリー第2520地区のガバナーでいらっしゃる菅原裕典様が公式訪問でお出でになっております。

また、第三分区ガバナー補佐千田勝治様(陸前高田RC)そして、2520地区代表幹事の鎌田善幸様もお見えになっております。3名の方々、ようこそお出で頂きありがとうございます。

当クラブの会員は、地区内外の大会に出席に対し協力的で、毎回多くの会員が出席しております。私は常日頃会員相互の協力は、私達クラブの自慢であり、誇りではないかと頃内心思っております。

また今月は、飲みにケーションアリの井戸端会議、ファイヤーサイドミーティングが予定されております。毎回会長がテーマを決めるのですが、今回は「市民に当クラブの活動を知ってもらうには？」としました。会員の皆さんの意見をグループごとにまとめて、例会の時に発表して頂きます。

会員それぞれの意見や、先輩のアドバイス等も有りで、本音の話し合いも出来ますし、お酒が入って楽しいかい交流の場にもなります。楽しい井戸端会議になるよう多くの皆さんに出席して頂きます様お願い致します。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

ガバナーよりニコニコボックスを頂きました。ありがとうございました。

◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

★ 新沼敏宏幹事

高木久子社会奉仕委員長がお休みなので代わりに報告させて頂きます。

皆様にはお諮りしておりませんでした。末崎地区の仮設住宅から復興住宅へ転居される方々から、エアコンの移転費用をどうにかして頂けないかとの要望がありました。このことに対し、松岡会長がすべてお引き受け下さり、実行中ですのでお知らせいたします。

◆◆◆ ガバナー紹介 ◆◆◆

第三分区ガバナー補佐 千田勝治様

職業分類：式場

経歴：1960年（昭和35年）仙台市生まれ

1979年 東北学院校と学校卒業

1983年 東北学院大学経済学部経済学科卒業



職歴 1983年 名古屋・中京葬儀社入社
1984年 // 退社
1985年 すがわら葬儀社設立
2000年 (株)すがわら葬儀社 代表取締役就任
2001年 社会福祉法人 無量壽会 理事長就任
2001年 せんだい泉エフエム放送株式会社取締役就任
2010年 2010年宮城学院中学校・高等学校父母教師会 会長就任
2010年 株式会社 清月記へ社名変更

団体歴 特定非営利法人 JETO みやぎ 理事長
仙台地区葬儀会館連絡協議会 会長

ロータリー歴

2009年 仙台泉ロータリークラブ入会
2009-10年 会員増強委員長
2010-11年 理事・会計
2011-12年 理事・会計姉妹クラブ委員長
2012-13年 会長
メキシコ合衆国第4150地区メキシコGSEチーム セイビニノミヤさん受入
2013-14年 地区クラブ奉仕委員会リーダー

ロータリー財団 メジャードナー 米山功労者

◆◆◆ ガバナー講話 ◆◆◆

第2520地区ガバナー 菅原裕典様



2015-16年度ガバナーに指名されました菅原裕典です。

所属は仙台泉ロータリークラブで、職業奉仕では清月記という葬祭業を営んでいます。ただいま私のプロフィールを紹介して下さった千田ガバナー補佐は、本日で公式訪問の任を終了されます。お疲れ様でした。

さて、昨年7月にガバナーエレクト年度がスタートしGETS（ガバナーエレクト研修セミナー）を2回受講しその後ロータリー研究会を経て12月のガバナーエレクト国際協議会壮行会を開催して頂き、サンディエゴのガバナーエレクト国際協議会に参加して参りました。

国際協議会では、世界120カ国より530名のガバナーが参加して、午前1回・午後2階の厳しい研修を1週間にわたり受講し、ラビンドランRI会長の「Be a gift to the world～世界のプレゼントになろう～」のテーマを基に、私たちは地位や身の上にかかわらず、才能・知識・能力・努力・そして献身と熱意など



誰にでも与えることのできる何かを持っているはずで、ロータリーを通じてこれらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことが出来るはずだという事を学んできました。

帰国後は、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー(PETS)そして、地区研修協議会を経て、いよいよ7月1日からガバナー年度がスタートしました。

この度の公式訪問は、1クラブずつでとお願いして回っております。被災地のクラブからは反発の声も聴かれましたが、「大げさなものではなく普通の例会とさせていただいて」という事でご理解を頂きました。

大槌 RC さんでは、4名の方々と行いました。公式訪問で回らせて頂いて、本当の被災地の状況が見えた気がいたしました。この公式訪問も、11月5日で終了予定です。



ロータリーの活動は、時間の奉仕だと思います。それにより信頼という財産を得る、自分磨きが出来ると素晴らしい組織だと思います。この2520地区は現在79クラブです。世界には120カ国に120万人のロータリアンがおり、100年もの歴史がある組織です。会員増強のためには、ロータリークラブの特徴や魅力をより一層伝えていかなければなりません。会員増強を押し付ける事は出来ませんが、

会員としてふさわしい方をリスト化することにより、一度や二度の勧誘だけではなく、何年も継続して勧誘することが大事だと思います。

ロータリークラブの財産は会員でありますので、人材の確保は重要なことだと考えております。だからこそ、ロータリーを広めて行く上で、プランディングすることが大切です。是非「ロータリーの友」や「ガバナー月信」をロータリーの広報のために使ってください。今年のガバナー月信には、ファイリングするための穴を開けませんでした。保存ファイルも配布しませんでした。それは、会社の目立つ場所に置いてもらい、そして、ロータリーの情報伝達のツールとして使っていただきたいからです。保存するのではなく、ボロボロになるまで使っていただければと思います。

また、IT化が進む現在、ホームページの充実・強化も大事なことです。出来るだけリアルタイムの情報を発信していきたいと考えておりますので、各クラブからの情報も載せていきたいと考えております。是非とも様々な情報をお寄せください。

残念なことに、我が2520地区のロータリー財団、米山奨学会への寄付は、34地区の中でも下から数えた方が早い順位です。私たちは3・11（東日本大震災）を経験しており、様々な方々から大変お世話になっております。その恩に報い、復興をアピールするためにも私の年度で財団寄付0クラブをなくしていけたらと思っております。



来年の5月下旬にソウルで世界大会が開かれます。お隣の国で、大変行きやすいところとなりますので、多数の方のご参加をお願いします。2520地区として、340名の参加を目標としております。各クラブの会長・幹事に会長エレクト・幹事エレクトの皆さんの最低4名を目指して頂き、更に数名の方にご参加頂ければと思います。

私の役割は、公式訪問にて、ラビンドラン国際ロータリー会長のメッセージを伝えることであると考えております。この訪問が、皆様にそのメッセージが伝わる機会になっていれば幸いです。

それでは、1年間宜しく願い申し上げます。

ほかにこんなお話も・・・

- ・ 恩返しではなく恩送りをすることによって、本当に困っている方にその恩が渡る。
- ・ 人は生まれてくるときは手を閉じて生まれるが、死ぬときは手を開き すべてを置いていく



◆◆◆ 歓迎懇親会 ◆◆◆

